
マルゼン 静音型油圧ユニット

U-070S型

取扱説明書

⚠注意

当製品を安全に、また正しくお使いいただくために、ご使用前に必ず本取扱説明書をお読みください。

誤った使い方をすると事故を引き起こすおそれがあります。

お読みになった後も必ず製品の近くに保管してください。

丸善工業株式会社

はじめに

この度は、マルゼン静音型油圧ユニットU-070S型をお買い上げいただきまして、誠にありがとうございます。

この取扱説明書は、安全かつ能率的なご使用をいただくための手引きとして、取扱い方法・使用上の注意事項及び点検整備方法について特に注意すべき事項を説明してあります。ご使用前には必ず、この取扱説明書を熟知するまでお読みのうえ、正しい取扱いをして、最良の状態で安全な使用方法で操作してください。

本書に従わなかった場合、重大な事故に結びつくことがあります。

この取扱説明書は、機械の付近に保管し、機械を扱う全ての方が定期的に見るようにしてください。紛失または汚損された時は、速やかに当社または当社の販売店にご注文ください。

又、製品を貸与または譲渡される場合は、本取扱説明書を製品に添付して、熟読する様にお申し伝えください。なお、ご不明なことや、お気づきのことがございましたら、当社または当社販売店までご連絡ください。なお、部品交換の際には必ず純正部品をご使用くださるようお願い致します。

純正部品でないものをご使用になると機械の性能、耐久性などを著しく低下させる危険性がありますのでご注意願います。

△印付きの下記マークは、安全上、特に重要な項目ですので必ずお守りください。



危険

その警告文に従わなかった場合、死亡または重傷を負うことになるものを示します。



警告

その警告文に従わなかった場合、死亡または重傷を負う危険性があるものを示します。



注意

その警告文に従わなかった場合、ケガを負うおそれのあるもの、または物的損害が生じるおそれのあるものを示します。

あらゆる環境下に於ける運転・点検・整備の全ての危険を予知する事は出来ません。

そのため、記載されている説明文は安全の全てを網羅したものではありません。

説明文にない運転・点検・整備を行う場合には、全て自分の責任において安全に対する必要な措置を取ってください。

目次

安全操作のための注意事項	2～4
本製品の使用目的	5
本製品の仕様	6
各部の名称	7
安全標識の貼り付け位置	8
使用上・作業上の注意	9
使用方法	10～13
保守点検	14
異常の原因と処置	15～16
部品図・部品表	17～26
安全操作説明確認カード	
安全操作説明確認（お客様控）	
保証書	

安全操作のための注意事項

ここに記載されている注意事項を守らないと死亡を含む傷害事故や機械の破損事故をまねくおそれがあります。

——安全にご使用いただくために——

警告 こんな時は作業をしないでください

- ・過労・病気・薬物の影響、その他の理由により作業に集中できない時
 - ・酒を飲んだ時
 - ・手・足・腰等身体に痛みやケガのある時
- 【守らないと】
重大な事故をまねくおそれがあります。

注意 高温になるので直接さわらないでください

- ・本機を使用していると油温が上昇して、機械が熱くなります。素手で触れたり、肌に接触させないでください。
 - ・マフラーや排気ガス出口付近は高温になります。素手で触れたり、肌に接触させないでください。
- 【守らないと】
火傷をするおそれがあります。

注意 傾斜した場所で使わない

- ・本機を傾斜した場所で使わないでください。
- 【守らないと】
重大な傷害や事故を起こすことがあります。

注意 機械を他の人に貸す時は

- ・取扱い方法をよく説明し、使用前に「取扱説明書」を必ず読み、理解してから使うように指導してください。
- 【守らないと】
説明不足により重大な傷害や機械の破損をまねくおそれがあります。

危険 火気を近づけないでください

- ・燃料の注入口に火気を近づけないでください。
 - ・給油中はエンジンを停止してください。
 - ・また給油時は、エンジン停止し2分間以上冷却した後行ってください。
 - ・燃料がこぼれたら、きれいにふき取って乾いたことを確認してから、始動してください。
 - ・燃料補給時は周囲に火気がないことを確認してください。
 - ・給油後、燃料のタンクキャップをしっかりと締めてください。
- 【守らないと】
爆発や火災により死亡事故をまねくおそれがあります。

**警告****排気ガスに注意**

- ・ 風通しのよいところで使用してください。
- ・ 室内で使用するときは充分換気してください。

【守らないと】

排気ガスによる中毒で、死亡事故にいたるおそれがあります。

**注意****空気吸入口に注意**

- ・ 本機を使用する時は、本機エンジンのスタータロープ側の空気吸入口が塞がれないように注意してください。

【守らないと】

エンジンの冷却不良によるオーバーヒートで重大な故障や火災を起こすおそれがあります。

**注意****油圧ハンドカッター、油圧ハンドオーガを使用するときの注意**

- ・ 本機のスローダウンスイッチを“OFF”にしてください。“ON”の状態で作業すると負荷がかかった時、エンジンの回転数が急に上り、カッターやオーガの回転数が急に速くなり危険です。

【守らないと】

破損や反動による事故および傷害をまねくおそれがあります。

**注意****油圧水中ポンプを使用するときの注意**

- ・ 本機のスローダウンスイッチを“OFF”にしてください。“ON”の状態で作業すると負荷がかかった時、正常な能力が出ません。

**注意****寒冷地での使用について**

- ・ 寒冷地ではスローダウン装置の特性上、外気温との関係で、油温が一定の温度（30℃付近）に上昇してもエンジン回転数がスローにならない場合があります。その場合は油圧センサの調整対応が可能です。お近くの当社販売店及びサービスセンタまでご相談ください。

**注意****エンジン停止直後の再使用時の注意**

- ・ エンジン停止直後に再使用する時は、必ず1～2分のスロー運転を行ってからアタッチメントの使用を行ってください。

【守らないと】

エンジンの冷却不良によるオーバーヒートで重大な故障や火災を起こすおそれがあります。

▲ 注意

バックカバー開閉時および本製品運搬時の注意

- ・ バックカバーを開く時はスプリングパチン錠を2箇所必ず外してから上げてください。
- ・ バックカバーを上げている時は引掛け棒で固定してください。(図1)
- ・ 閉じる時は必ず引掛け棒を外してください。
- ・ 閉じた後に必ずスプリングパチン錠を2箇所閉めたことを確認してから作業を開始してください。
- ・ 運搬時にバックカバー開口部に手をかけて持ち上げないでください。

【守らないと】

カバーの破損及び事故による傷害をまねくおそれがあります。

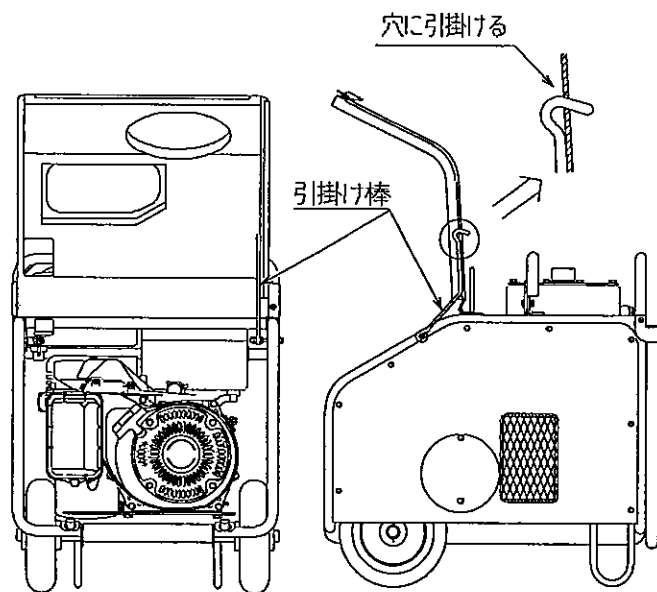
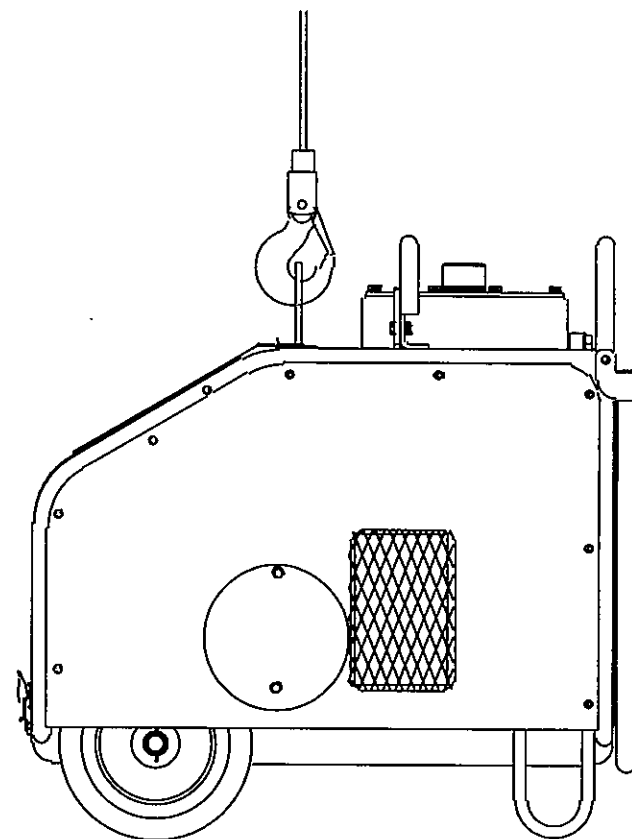


図1. バックカバーのオープン時引掛け棒使用図

▲ 注意

吊り上げ注意

- ・ 吊りフック以外の箇所で本機を吊り上げないでください。
- 【守らないと】**
機械落下等による事故で重大な傷害を受けることがあります。



本製品の使用目的

1. 本製品は下記の当社油圧アタッチメントの動力源として使用してください。

- | | |
|----------------|-----------------------------------------------------|
| (1) 油圧ハンドブレーカ | BH-20・20R型、BH-23K・23RK型
BH-16型
BH-11型、BH-05B型 |
| (2) 油圧杭打ち機 | KH-180-2型、KH-150型、KH-400型 |
| (3) 油圧ロックドリル | MHD-20B型 |
| (4) ※油圧ハンドカッター | CH-130型 |
| (5) ※油圧ハンドオーガ | OH-1型、AY01H型 |
| (6) ※油圧水中ポンプ | PH-300型 |

※印のアタッチメントを使用の際は必ずスローダウンスイッチをOFFにしてください。

2. 下記のような場所又は方法では使用しないでください。

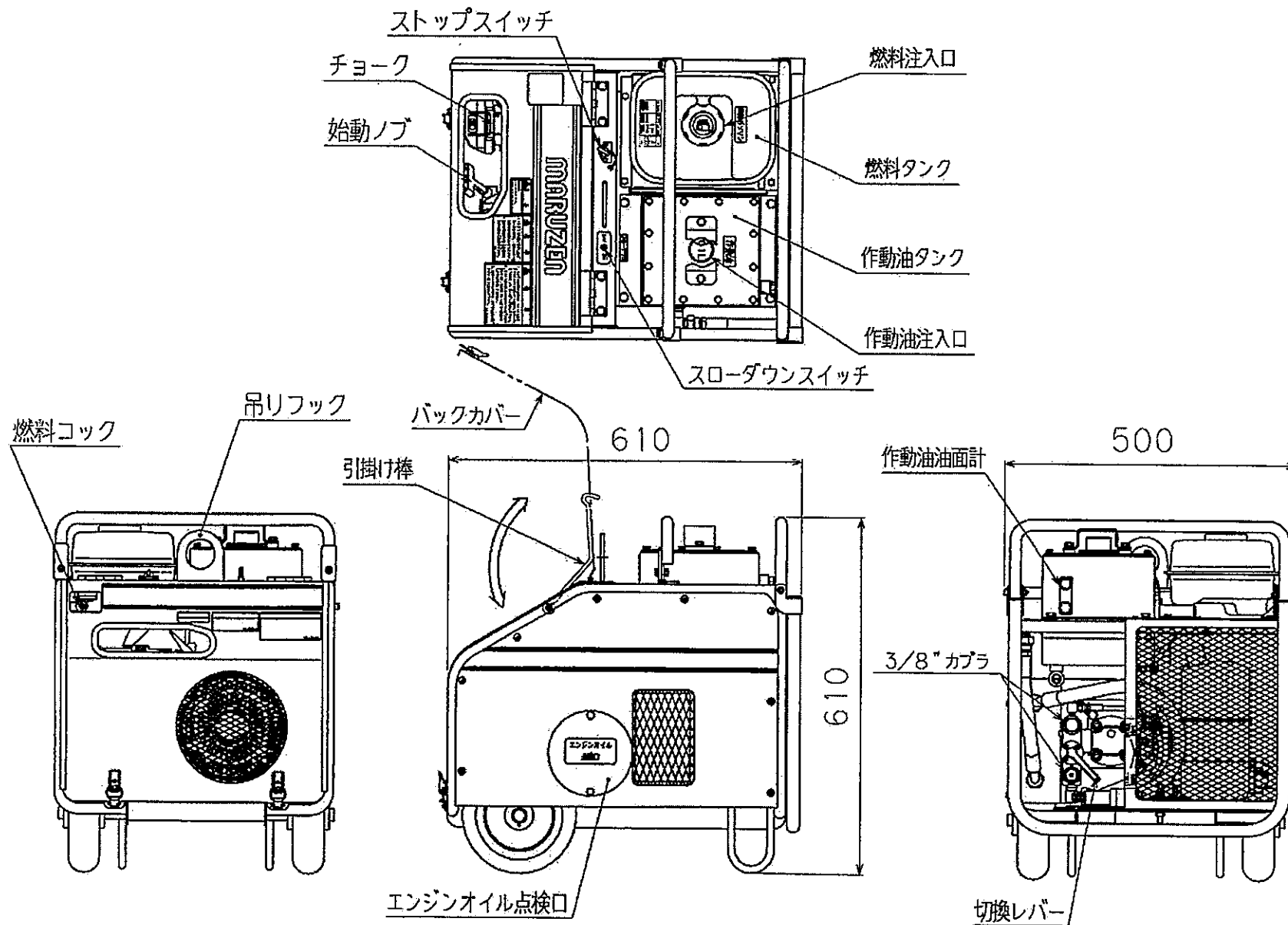
- (1) 引火しやすいもの、燃えやすいものがある場所での使用
- (2) 傾斜した場所での使用
- (3) 地下、建物の内部等換気の悪い場所での使用
- (4) 標高1,000m以上の高地での使用（ご相談ください）
- (5) 使用目的以外の作業での使用

本製品の仕様

U-070S型

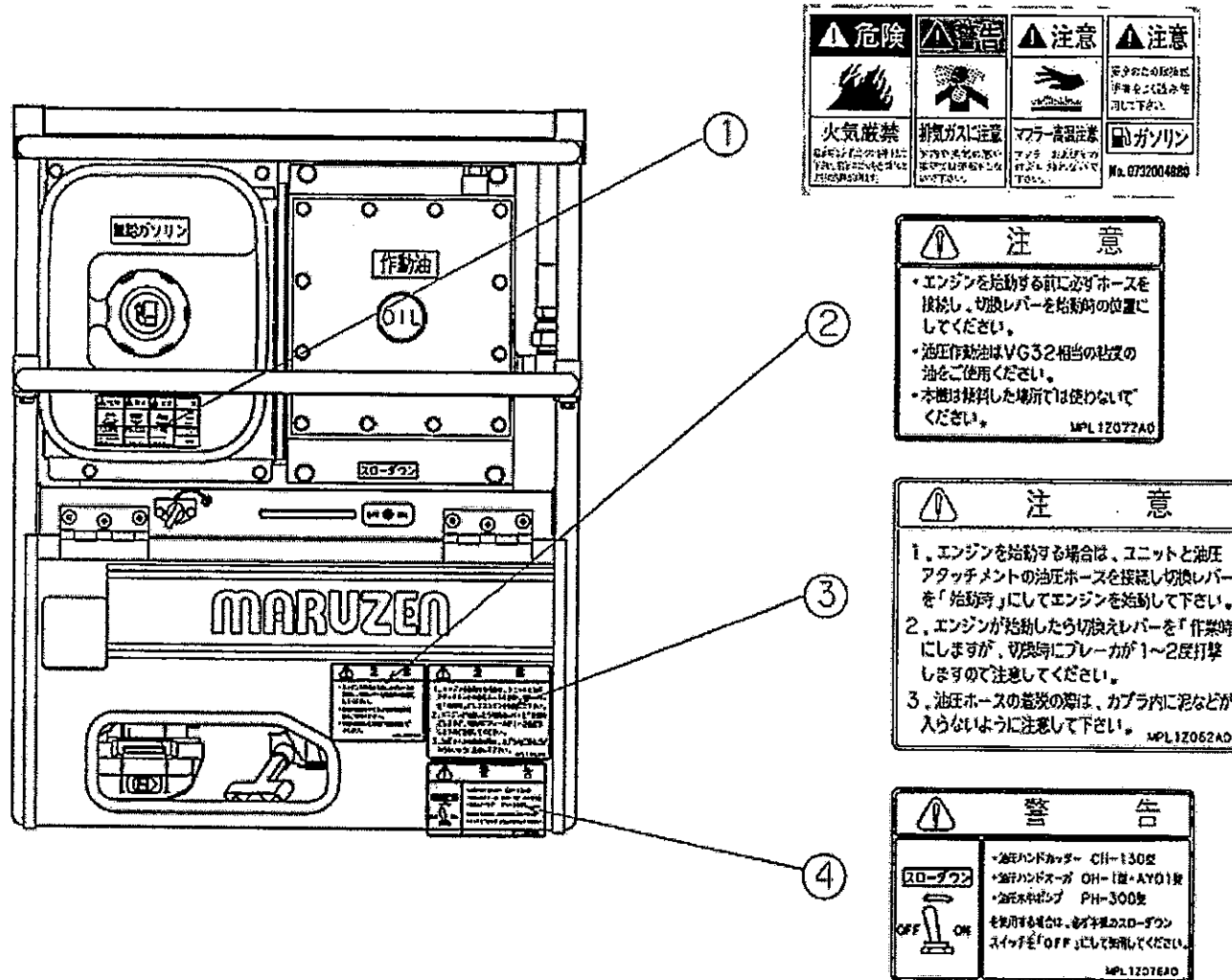
1. 外形寸法	長 610×巾 500×高 610mm
2. 乾燥質量	約 58kg
3. 最高圧力	11.7MPa (120kgf/cm ²)
4. 油流量	20.5 L/min
5. エンジン	ロビンEX21D (丸善仕様)
最大出力	5.1 kW
6. 燃料タンク容量	3.2 L
7. 使用燃料	自動車用無鉛レギュラーガソリン
8. エンジン始動方法	リコイルスタート
9. 作動油タンク容量	4 L
10. 使用作動油	ISO VG32相当
11. 油圧接続径	3/8" カプラ装備
12. 使用可能延長ホース	3/8" 10mまたは5m
13. その他	スローダウン機構装備

各部の名称



安全標識の貼り付け位置

安全に作業していただくために、安全標識の貼り付け位置を示したものです。安全標識は汚損のないように保ってください。もしも、はがれたり汚損した場合は新しいものに貼り直してください。安全標識の購入に際しては部品番号で当社または、当社の販売店にご注文ください。



▲危険 火気厳禁 エンジンが熱い時に燃料を注ぎすぎると火災の原因になります。	▲警告 排気ガスに注意 排気ガスは有害な物質を含んでいます。長時間の暴露は健康被害の原因となります。	▲注意 マフラー高温に注意 マフラーはエンジンが熱い時に非常に高温になります。触ると火傷の原因となります。	▲注意 安全のためには必ず手袋を着用してください。 ガソリン No. 0732004980
-----------------------------------------------------	-----------------------------------------------------------------	--------------------------------------------------------------------	----------------------------------------------------------------------

No	部品番号	部品名
1	0732004980	E/G PLラベル
2	MPL1Z077A0	ラベルCB(注意)
3	MPL1Z062A0	ラベルBN(注意)
4	MPL1Z076A0	ラベルCA(警告)

▲注意

- エンジンを開始する前に必ずホースを抜かし、切換レバーを始動時の位置にしてください。
- 適任作業油はVG32相当の社販の油をご使用ください。
- 本機は標榜した場所では使わないでください。

MPL1Z077A0

▲注意

- エンジンを開始する場合は、ユニットと油圧アタッチメントの油圧ホースを確認し切換レバーを「始動時」にしてエンジンを始動して下さい。
- エンジンが始動したら切換レバーを「作業時」にしますが、切換時にブレーキが1〜2度打撃しますので注意してください。
- 油圧ホースの着脱の際は、カプラ内に泥などが入らないように注意して下さい。

MPL1Z062A0

▲警告

RO-922

- 油圧ハンドカッター CH-130型
- 油圧ハンドスグ OH-1型・AY01型
- 油圧ホースポンプ PH-300型

を使用する場合は、必ず機体のRO-922スイッチを「OFF」にして使用してください。

MPL1Z076A0

使用上・作業上の注意

1. 本機を傾斜した場所では使わないでください。
2. ホースの接続、切り離し時はごみ、ほこり、泥などが付着しないように十分に注意してください。
3. 寒冷地で作動油温度が低い時は+10℃くらいになるまで暖気運転をしてください。
4. マフラーの排気口の付近に燃えやすいものや引火するおそれのあるものがないことを確認してください。
5. エンジンに関する調整方法や、格納時の処置についてはエンジンの取扱説明書に従ってください。
6. 電気配線コードに傷をつけたり、水が掛かったりしないよう取り扱いに注意してください。
7. 作業中にホースが破損し、油が噴出した時は速やかに油圧ユニットを停止させてください。
8. 油圧ユニットと油圧アタッチメントを切り離したときはカプラにキャップをかぶせてください。
9. ホースの接続や切り離しを行うと少量の作動油が漏れます。油で周囲を汚さないように気をつけてください。
また、始動時には作動油の量を点検し、不足している時は補充してください。
10. 本機を1ヶ月以上格納する時は、エンジンのガソリンを完全に抜取ってください。
(燃料タンク内のガソリンを抜取り、その後が経路内のガソリンがなくなって停止するまでエンジンを動かしてください。
また、全体のごみ、泥等を取り除き清掃してください。この際あまり強い水流での清掃は避けてください。)
11. 長期格納後、またはガス欠後のエンジン再始動時には燃料を満タンに注入してください。(注入量が少ないと燃料ホース内にエアが残り燃料が流れなくなるため、エンジンが始動困難になる可能性があります。)
12. スローダウン装置が正常に作動しない時は本取扱説明書のp15の『異常の原因と処置』の3、4項目をお読みください。

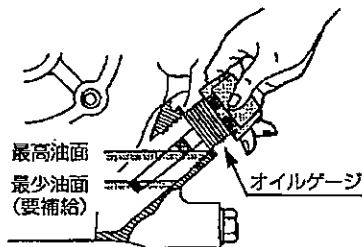
エンジンの取扱説明書の詳細、点検項目もよくお読みください。

使用方法

1. ご使用前に

(1) エンジンオイルの確認

エンジンオイルの量をオイルゲージで確認してください。不足している時は、自動車用エンジンオイル SAE10W-30 を規定量になるまで注入してください。



容量は 0.6ℓ です。

※オイルゲージの位置につきましては、p13の「エンジンオイル点検口の開閉方法」をお読みください。

(2) 油圧作動油の確認

作動油タンクの油面計で、油面が確認できない時は ISO VG32 相当の粘度の油圧作動油を用意し、作動油タンク上面の注入口プラグをはずして油面が油面計の中央の高さくらいになるまで注入してください。容量は約 4ℓ です。

作動油 例：ENEOS スーパーハイランド 3 2
シェルテラスオイル T32 等

(3) 燃料の注入

エンジンの燃料タンクに自動車用普通ガソリンを注入してください。

容量は約 3.2ℓ です。

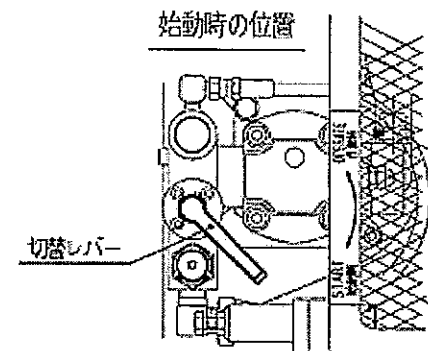
燃料がこぼれたら、きれいにふき取ってください。

2. エンジンの始動

(1) エンジンの始動操作をする前に

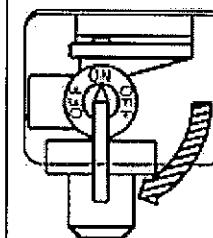
パワーユニットのホースを油圧アタッチメントのホースに接続してください。

ホースを接続しない状態ではエンジンを始動しないでください。また、切替レバーを必ず右図の位置になるように切り替えてください。

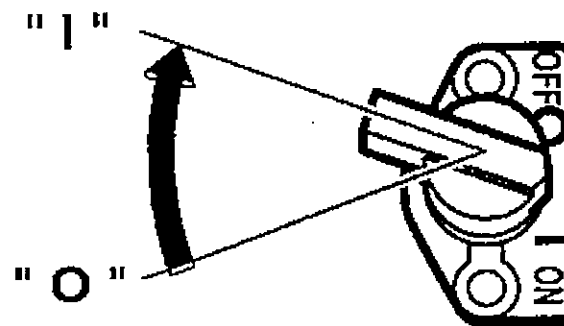


(2) 始動操作

① 燃料コックを開きます。



② ストップスイッチを運転 (I) 側にまわします。

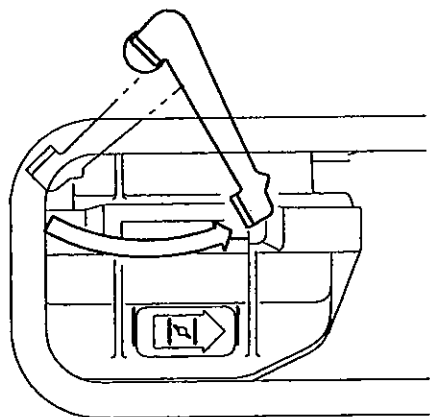


③スローダウンスイッチを“ON”にします。

④ チョークレバーを閉じます。

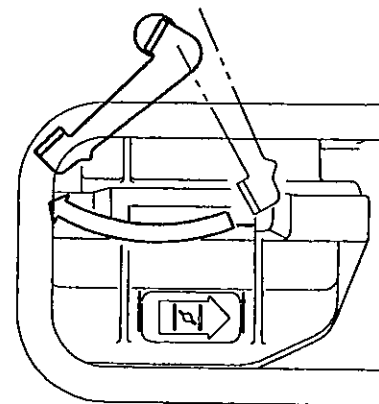
チョークの開度は

- 寒い時やエンジンが冷えている時は全閉にします。
- 暖かい時や運転停止直後再始動する場合は全開もしくは半開にしてください。



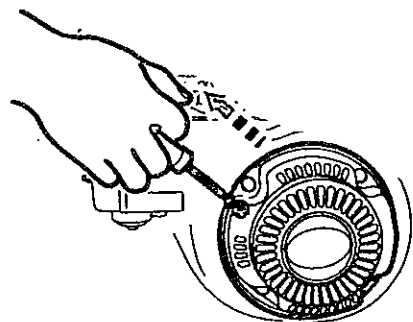
⑥ エンジンが始動したらチョークレバーを開きます。

- チョークレバーはエンジンの調子を見ながら徐々に開き、最後に必ず全開にしてください。
- 寒い時またはエンジンの冷えている時、急にチョークレバーを開くと、エンジンが停止する事があります。ご注意ください。



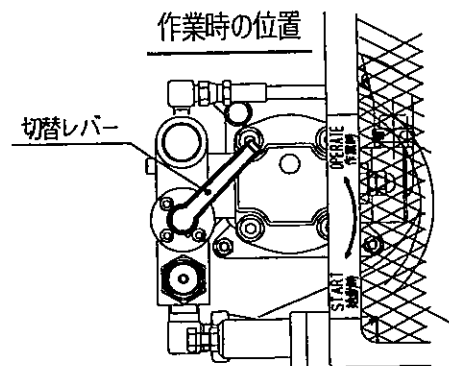
⑤ ◦始動ノブをゆっくり引いてゆくと重くなる所(圧縮点)があります。更に少し引くと一度軽くなる所があり、そこから始動ノブを一旦元に戻し、勢いよく引張ります。

- ロープは一杯に引ききらないでください。引いた始動ノブは、その位置から手離さずにしずかに元に戻してください。



3. 運転、作業

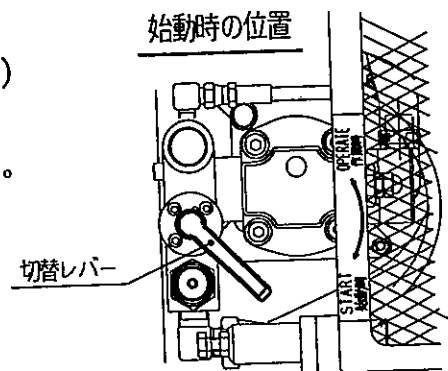
- (1) 切替レバーを右図の位置になるよう切り替えます。油圧アタッチメントを使用します。各油圧アタッチメントの操作は各々の取扱説明書に従ってください。



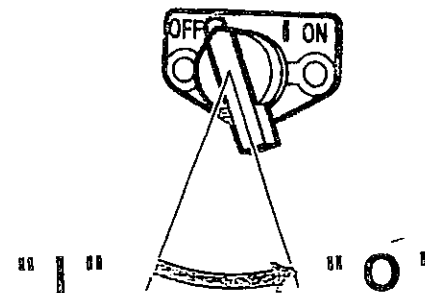
- (2) ブレーカ等を使用し油圧回路の圧力が上昇すると、エンジンの回転数が上がります。また、使用を中止して圧力が低下するとエンジンの回転数が下がってスロー運転になります。
- (3) 油温が低い時は、アタッチメントの作業が鈍くなったり、エンジン回転数がスローにならない時がありますが、油温の上昇と共に正常になります。

4. 停止

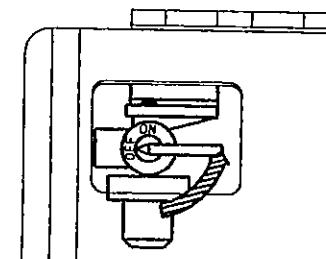
- (1) 切替レバーを始動時（右図）の位置に戻し、2～3分間スロー運転の状態にします。



- (2) ストップスイッチを停止 (O) 側にまわしてください。



- (3) 燃料コックを閉じます。



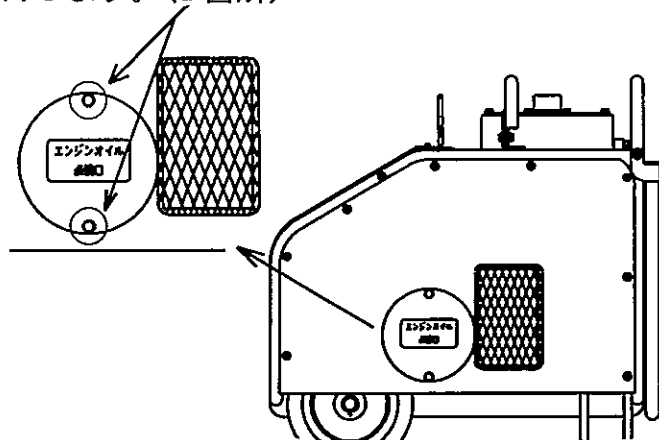
- (4) 油圧アタッチメント（ブレーカ等）のホースを切り離します。ホース先端のカブラを互いに接続しておきます。
- (5) カブラにキャップをかぶせます。

注意

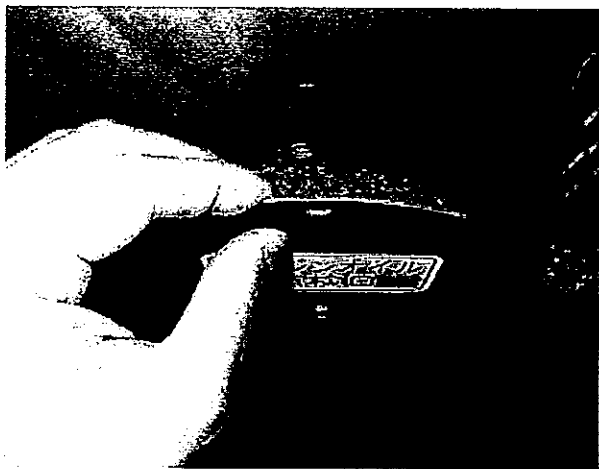
作業により、油圧アタッチメント（ブレーカ等）、ホース、工具、パワーユニットの各部が高温になっています。必ず手袋を着用してください。

※エンジンオイル点検口の開閉方法

- (1) 二面幅が10のスパナで六角ボルトを緩めて取り外します。(2箇所)



- (2) エンジンオイル点検口のフタを手でつまみ外します。



- (3) フタは完全に外れます。



保守点検

I. 日常点検

- (1) エンジンオイルの量は毎日始動前に点検してください。
- (2) 作動油の量は油面計の中間位の油面を保つよう、適時、作動油を補充してください。(作動油はISO VG32相当)
- (3) エンジンのエアクリーナエレメントの汚れを清掃してください。
- (4) 油圧ホースやポンプの付近に油洩れがないか点検し、必要に応じてホース金具やボルトの増締めを行います。
- (5) エンジンを始動後、低速で運転し異常な振動や異常な音がないか点検してください。

II. 定期点検

油圧ユニットを常に良好な状態に保つため、次の表に従って保守点検を必ず実施してください。

項目	時間	50時間	100時間	200時間
エンジンオイルの交換		※○		
エアークリーナの清掃		○		
燃料ストレーナの清掃				○
点火プラグの清掃		○		
作動油の交換			○	
カートリッジフィルターの交換				○
ラジエーターの清掃			○	
サクシヨンフィルターの清掃				○
作動油タンクの清掃				○

※初回20時間

- (1) 作動油はオイルタンクの底のドレン口から抜き取ります。
作動油が白くにごっていたり、焦げ臭いようなにおいがついて変色している時は同じ銘柄の作動油と交換してください。
- (2) サクシヨンフィルターはガソリンまたは洗油で洗浄します。
- (3) オイルクーラーは外側からエアで吹いてゴミ、ホコリを吹きとばします。
- (4) ブレーカ等との接続用のホースは全長にわたって点検し、深い傷やつぶれのために油洩れのおそれのあるものは交換してください。

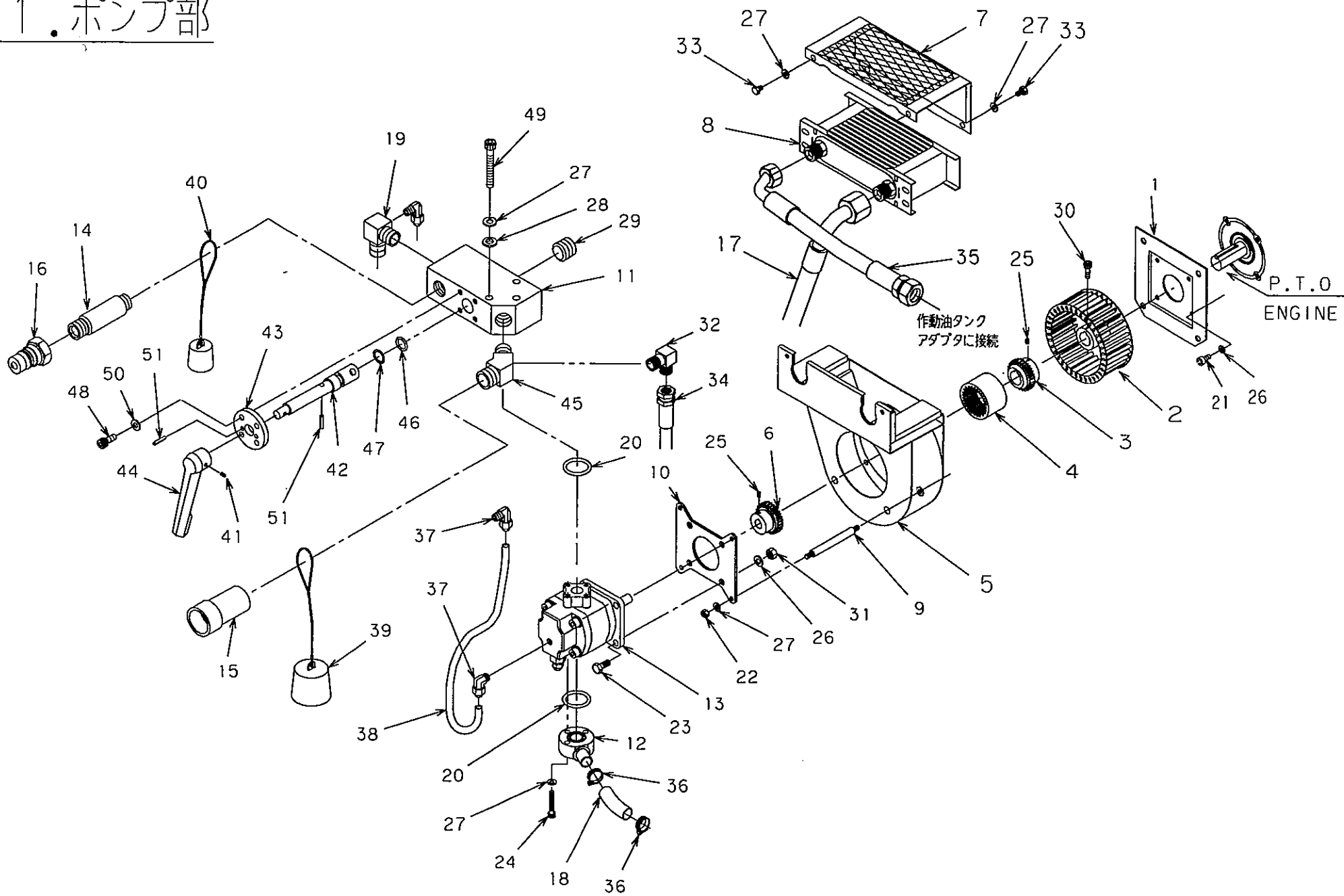
異常の原因と処置

★印については当社に依頼してください

異常現象	主な原因	処置
1. エンジンが始動しない	1. 燃料の不足 2. 燃料ホース内にエアが残り、燃料が流れなくなっている。キャブレータまで届いていない（ガス欠、長期格納後） 3. 点火プラグの不良 4. キャブレータの目づまり 5. 燃料コックが閉になっている 6. チョーク過多によるかぶり 7. 点火系統の不良 8. 燃料フィルタの目づまり 9. ストップスイッチが停止（O）側になっている 10. ストップスイッチの損傷またはコードの外れ、損傷 11. エアクリーナの目づまり	1. 燃料の注入 2. 燃料を満タンに注入するまたは燃料コックのカップを外してエアを抜く 3. 清掃または交換 4. 分解清掃する 5. 燃料コックを開にする 6. 燃料コックを閉じて、数回スタータロープを引く ★7. 点検、修理 8. 清掃する 9. 運転（I）側にする ★10. 点検または交換する 11. 清掃する
2. 始動ノブが重い	1. ホースが接続されていない 2. エンジンオイル不足による焼きつき 3. カプラの故障 4. 切替レバーが“始動時”位置になっていない	1. 油圧アタッチメントと接続する ★2. 分解、修理 3. 点検し、不良の場合は交換する 4. レバーを切替える
3. エンジン回転が上がらない	1. チョークを戻していない 2. 燃料不足 3. 燃料フィルタの目づまり 4. エアクリーナの目づまり 5. スローダウン装置の作動不良	1. チョークを戻す 2. 燃料注入 3. 清掃する 4. 清掃する ★5. 調整または分解、修理

異常現象	主な原因	処置
4. エンジン回転がスローにならない	1. 作動油温が低い	1. 油温を上げる
	2. 油圧回路の抵抗が大きい(①規定以上の延長ホース使用、②カプラの不具合等)	2. ①規定の延長ホースを使用する ★ ②点検、交換
	3. スローダウン回路の断線、故障	★3. 点検、修理
	4. 使用環境に油圧センサの設定があていない	★4. 油圧センサの調整
5. 油圧アタッチメントが作動しない、または力が出ない	1. 作動油の不足 2. 作動油の劣化 3. リリーフ弁圧力の低下 4. ポンプの摩耗による能力の低下 5. カプラの故障 6. 切換えレバーが“始動時”になっている	1. 作動油を補充する 2. 作動油を交換する ★3. リリーフ弁圧力を調整する ★4. ポンプを交換する 5. 交換する。 6. 切換えレバーを“作業時”にする
6. 油温が異常に上がる(80℃以上)	1. ラジエータの目づまり 2. シロッコファンの目づまり	1. 清掃する 2. 清掃する
7. 配管からの油漏れ	1. ホース、金具のゆるみ 2. ホースの破損	1. 増し締めする 2. 交換する
8. ストップスイッチを“OFF”にしてもエンジンが停止しない	1. スイッチコード、アース回路の断線、接触不良	★1. 点検、修理
9. ユニット内部がガソリン臭い	1. 燃料ホースからの燃料もれ 2. 燃料コックからの燃料もれ	1. 点検、ホースの交換 2. 点検、交換

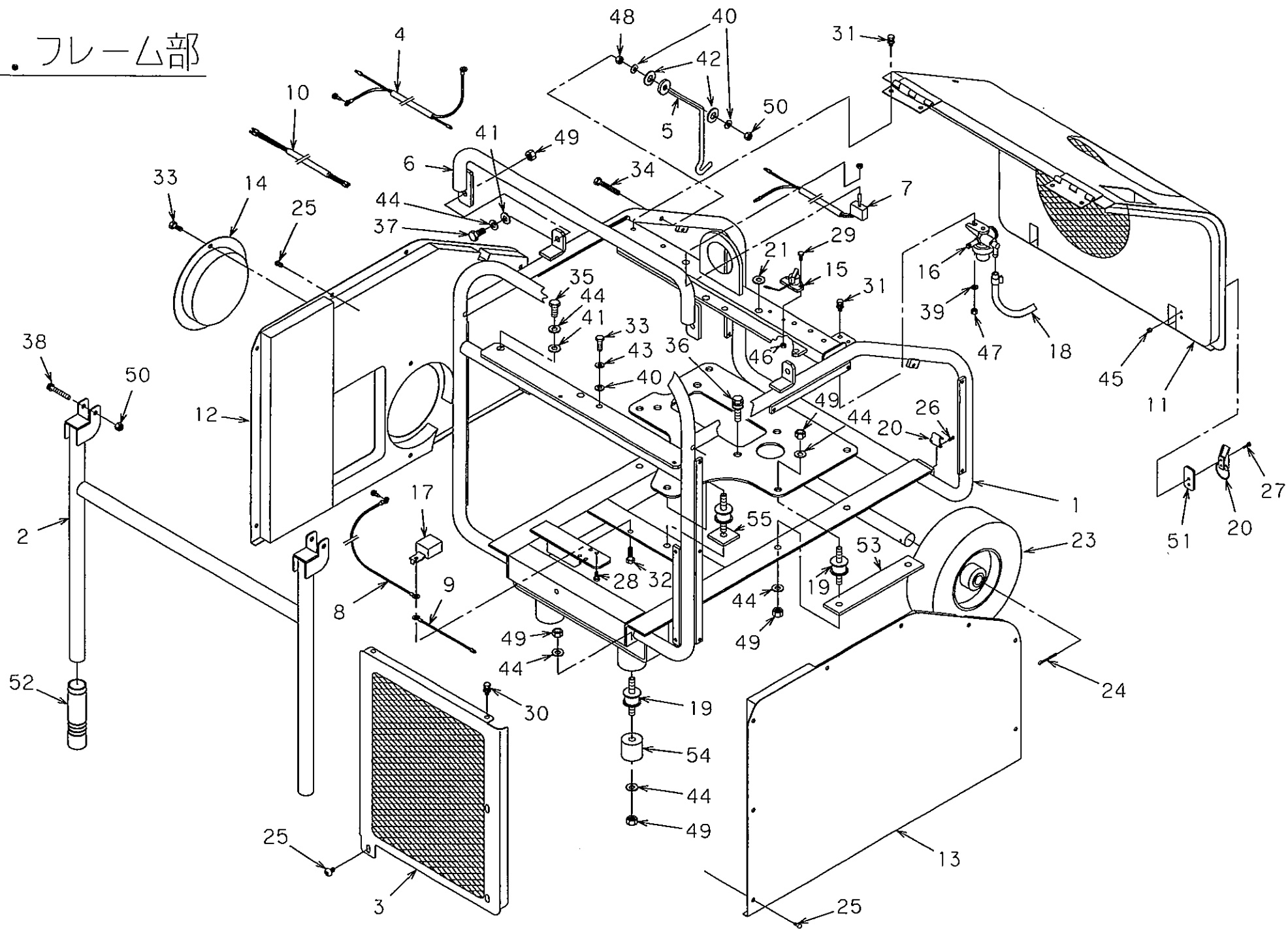
1. ポンプ部



部品表 1. ポンプ部

No.	部品番号	部品名称	数量	No.	部品番号	部品名称	数量
1	MU02E019A	取付板(A)	1	36	SS-8	ホースバンド	2
2	CAB050050020BY	ファン(T)	1	37	L4N8×6-PT1/4	エルボ	2
3	MU02E052A	カップリング(E)	1	38	T0806B-0.250	チューブ	1
4	MU02E054A	ハブ	1	39	CC-03F	カブラキャップ(メス)	1
5	MU08Y050A	ファンケース Assy	1	40	CC-03M	カブラキャップ(オス)	1
6	MU04Z053A	カップリング(P)	1	41	SH-5×6	ボルト	1
7	MU08Z051A	ラジエータカバー Assy	1	42	MU08Z015B	ロータリー(L)	1
8	MU08Z007A	ラジエータ	1	43	MU08Z017A	プレート(L)	1
9	MU02E008B	スタッドボルト	4	44	MU08Z030A	フィクストレバー	1
10	MU04Z005A	ポンプフランジ	1	45	MU08Z021A	アダプタ追加工	1
11	MU08Z018A	バルブボディ(L)	1	46	OP-10A	Oリング	1
12	MU04Z006A	サクシヨンフランジ	1	47	OBP-10A	バックアップリング	1
13	GPYR-6.2A1S2R	ポンプ	1	48	BH-5×15	ボルト	4
14	N-2084-06-75A	アダプタ	1	49	BH-6×45	ボルト	3
15	QC-03F	カブラ(メス)	1	50	WS-5	ザガネ	4
16	QC-03M	カブラ(オス)	1	51	PR-4×14	ピン	3
17	01126・7--53--	低圧ホース	1				
18	MU08Z019A	サクシヨンホース	1				
19	MU08Z009A	エルボ	1				
20	OP-22	Oリング	2				
21	BH-8×20	ボルト	4				
22	N1-6	ナット	4				
23	B-8×25	ボルト	4				
24	BH-6×40	ボルト	3				
25	SH-4×6	小ネジ	2				
26	WS-8	ザガネ	8				
27	WS-6	ザガネ	14				
28	MU02Z092A	ザガネ	3				
29	BPH1-PT3/8	プラグ	1				
30	BH-4×6	ボルト	1				
31	N1-8	ナット	4				
32	190-2-2	アダプタ	1				
33	B-6×10	ボルト	4				
34	MU10Z034A	SDホース	1				
35	01126・7--43--	低圧ホース	1				

2. フレーム部

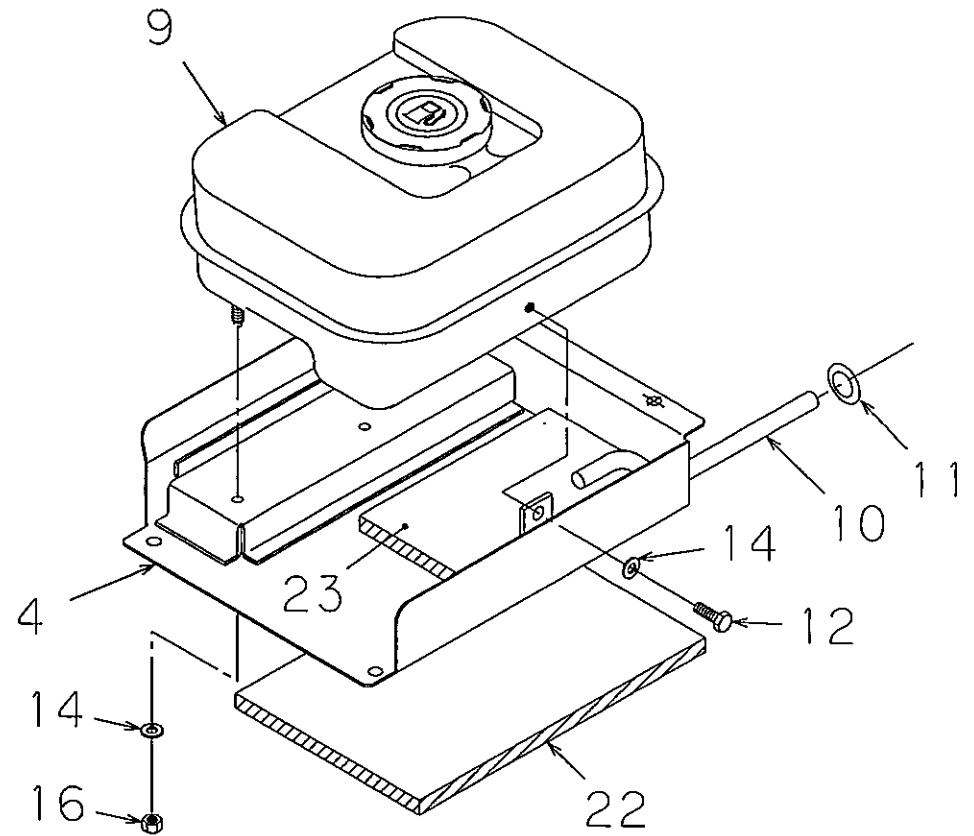
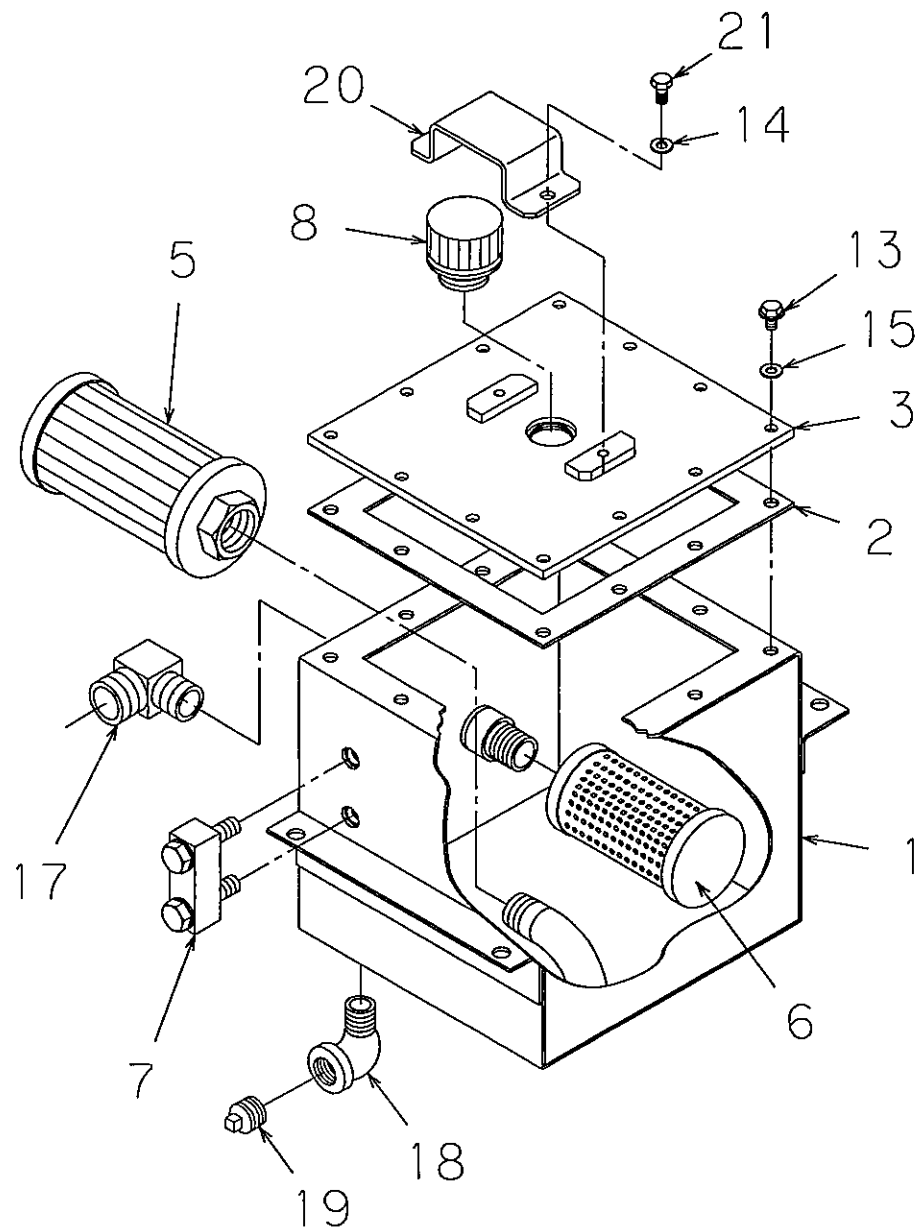


2. フレーム部

No.	部品番号	部品名称	数量
1	MU10X001C	フレーム	1
2	MU10Y071A	ハンドル(H型)	1
3	MU10Y079A	フロントカバー(A)	1
4	MU10Z022A	スイッチコード	1
5	MU10Z053A	引掛棒(A)	1
6	MU10Z024B	タンクガード	1
7	MU10Z035B	SDスイッチA'ssy	1
8	MU10Z042A	アースコード	1
9	MU10Z044A	SDアースコード	1
10	MU10Z045A	センサコード	1
11	MU10Z047C	バックカバーASSY	1
12	MU10Z048A	カバー(L)ASSY	1
13	MU10Z049A	カバー(R)ASSY	1
14	MU10Z050B	ノキフタASSY	1
15	066-00004-70	スイッチ AY	1
16	064-20095-00	FUEL STRAINER AY	1
17	147-71401-01	DIODE RECTIFIRE CP	1
18	278-62612-01	FUEL PIPE CP	1
19	KA-30	防振ゴム	7
20	C-1150-3	スプリングパチン錠	2
21	C-30-NG-79-D-UL	グロメット	1
22			
23	G-200B	ソリッドタイヤ	2
24	PS-3.2×30	ピン	2
25	ST-5×8	小ネジ	19
26	SR-3×8(3P)	小ネジ	4
27	SR-3×10(4P)	小ネジ	4
28	B-4×10(2P)	ボルト	4
29	B-4×15(2P)	ボルト	2

No.	部品番号	部品名称	数量
30	B-5×8(2P)	ボルト	2
31	B-5×15(3P)	ボルト	5
32	B-6×10	ボルト	1
33	B-6×15	ボルト	6
34	B-6×45	ボルト	1
35	B-8×20	ボルト	4
36	B-8×40(3P)	ボルト	4
37	B-8×22(9T)	ボルト	2
38	BH-6×35	ボルト	2
39	WP-5	ザガネ	2
40	WP-6	ザガネ	6
41	WP-8	ザガネ	6
42	WP-10	ザガネ	2
43	WS-6	ザガネ	4
44	WS-8	ザガネ	20
45	N1-3	ナット	4
46	N1-4	ナット	2
47	N1-5	ナット	1
48	N1-6	ナット	1
49	N1-8	ナット	16
50	NN-6	ナット	3
51	MU10Z062A	スペーサ(パチン錠取付用)	2
52	C-30B (黒)	ライングリッパ	2
53	MU10Z078A	スペーサ(A)	2
54	MU10Z074A	前足(φ30)	2
55	MU10Z080A	スペーサ(B)	1

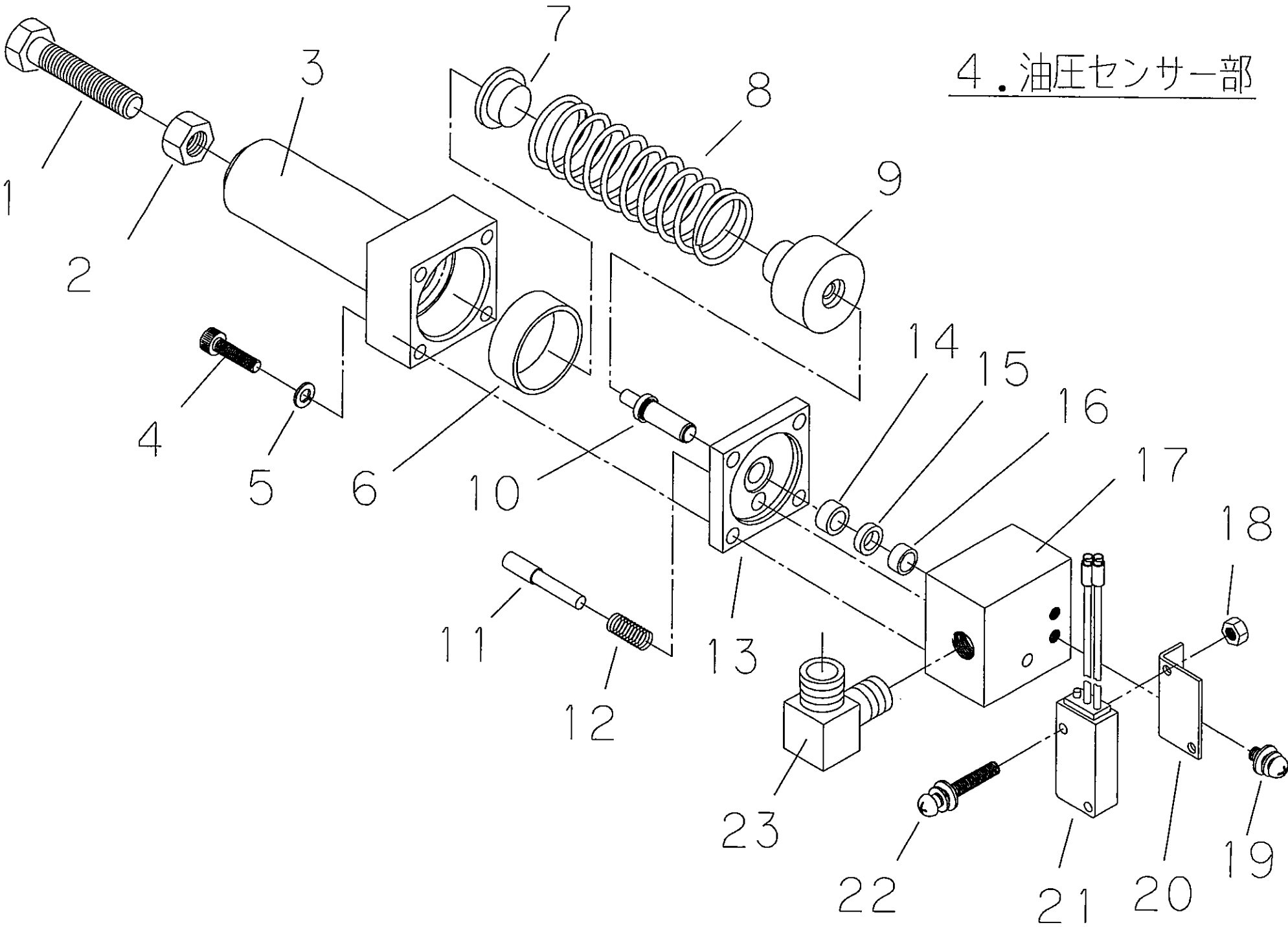
3. 作動油タンク・燃料タンク部



3. 作動油タンク・燃料タンク部

No.	部品番号	部品名称	数量
1	MU10Y002A	作動油タンク	1
2	MU10Z003A	タンクフタ	1
3	MU10Z004A	タンクパッキン	1
4	MU10Y005A	燃料タンクプレート	1
5	CT-04W	サクシヨンフィルタ	1
6	RC-04-30-15	リターンフィルタ	1
7	CD型D6-H40 フロート(赤)	油面計	1
8	BM-3/4	ブリーザキャップ	1
9	278-60101-60	FUEL TANK AY	1
10	246-62606-11	FUEL PIPE 6 CP	1
11	C-30-NG-79-G-UL	グロメット	1
12	B-6×20	ボルト	1
13	BG-6×12	ボルト	12
14	WS-6	ザガネ	5
15	1240-404	φ6ワッシャ	12
16	N1-6	ナット	2
17	N-1034-08	アダプタ	1
18	メスオスエルボ 3/8	鑄鉄製管継手	1
19	BPQ-PT3/8	プラグ	1
20	MU10Z043A	キャップガード	1
21	B-6×10	ボルト	2
22	MU10Z077A	断熱材(A)	1
23	MU10Y081A	断熱材(B)	1

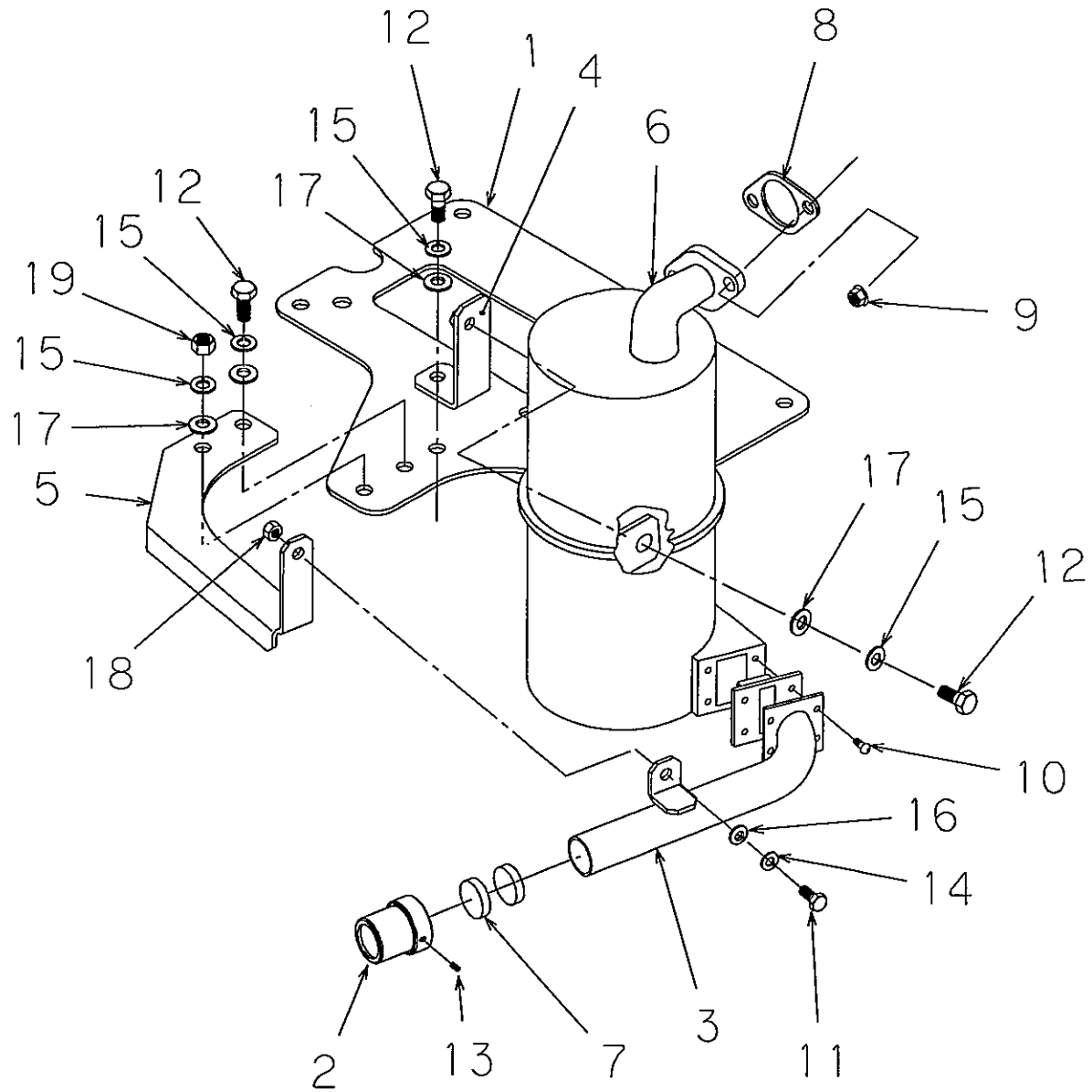
4. 油圧センサー部



4. 油圧センサ部

No.	部品番号	部品名称	数量
1	B-8×40	ボルト	1
2	N1-8	ナット	1
3	MU10Z070A	スプリングカバー(センサー部)	1
4	BH-4×30	ボルト	4
5	WS-4	ザガネ	4
6	K5B2510	DDK05ブッシュ	1
7	MU10Z033B	ザガネ(B)	1
8	11-1854	スプリング	1
9	MU10Z068A	センサバネ座	1
10	MU10Z067A	センサースプール	1
11	MU10Z069A	センサープッシュロッド	1
12	WF5-15	スプリング	1
13	MU10Z065A	センサーブッシュ	1
14	MU10Z066A	センサーカーラー	1
15	CAP-1BI-6	キャップシール	1
16	K5B0604	DDK05ブッシュ	1
17	MU10Z064A	センサボディ	1
18	N1-3	ナット	2
19	SR-3×6(3P)	小ネジ	2
20	MU10Z027A	ブラケット	1
21	MU10Z051A	マイクロスイッチ Assy	1
22	SR-3×20(3P)	小ネジ	2
23	190-2-2	アダプタ	1

5. エンジンベース部



5. エンジンベース部

No.	部品番号	部品名称	数量
1	MU10Y006A	エンジンベース	1
2	MU10Z059A	排気口 (A)	1
3	MU10Y057A	テールパイプ (A)	1
4	MU10Y011A	マフラスター	1
5	MU10Z076A	テールパイプスター (B)	1
6	279-30502-10	MUFFLR AY	1
7	277-37220-03	SCREEN	2
8	277-35201-01	GASKET CP	1
9	980-20082-80	FLANGE NUT	2
10	TP-4×10	タッピングネジ	4
11	B-6×20	ボルト	1
12	B-8×20	ボルト	3
13	SH4×5 (トガリ先・ユニクロ)	小ネジ	2
14	WS-6	ザガネ	1
15	WS-8	ザガネ	3
16	WP-6	ザガネ	1
17	WP-8	ザガネ	4
18	N1-6	ナット	1
19	N1-8	ナット	1